Agenda

2 キャリア教育

将来、社会で活躍するために。

子どもたちが大学受験を経験する6年後、大学を卒業する10年後、社会に出て活躍する20年後、社会はどのように変わっているのでしょうか。過去数十年の間に、情報通信技術が著しく発達し、様々な分野でグローバル化が進んだように、今後も大きな変化を経験することになるでしょう。

そうした変化の中にあっても、子どもたちがしっかりと自分の道を選んでいけるよう、桐蔭学園では「様々なキャリアを知る」、「他者と協働する」ことの2つに重点を置いてキャリア教育を実施していきます。

様々なキャリアを知るための取り組みとして、多方面で活躍している本校の卒業生や保護者の方々に協力していただきながら、職業人の話を聴くフロンティアセミナーや、職場訪問、職業インタビューなどを実施しています。大学卒業後、一つの会社に勤め続ける人ばかりではなく、男性も女性もライフステージに応じて多様なキャリアを歩むことになるでしょう。そうしたキャリアのあり方について座学で学ぶのみならず、数多くの経験を積んだ人の話を実際に聞いてみることで、生徒たちは大いに刺激を受けています。

そして他者との協働を通した学びについては、学校行事をアクティブラーニングの一つの手法であるプロジェクト型学習(Project Based Learning)実践の場として活用することを予定しています。宿泊研修旅行や学園祭、合同運動会といった行事の運営を生徒主体にするだけではなく、行事を一つのプロジェクトと捉え、運営の仕方、関係者との協力の仕方などを学び、振り返る活動を実施していきます。そうした活動を通して、将来求められるであろう、周囲の人と協力しながら物事を推進していく力を養います。

職場訪問

中学3年生女子を対象に2014年度から始まった職業インタビュー。参加した生徒からも保護者からも大変高い評価を得ています。「将来就きたい仕事を考えてみよう」といっても、中高生が知っている職業は限られてしまいます。そこで事前学習の中で様々な職業の存在を知った上で、卒業生や保護者、地域の方のご協力のもと、教員が訪問先の選定を行います。

生徒は3名程度のグループになり、自らアポイントをとり、職場などを訪ね、生徒たちだけで社会人へのインタビューを行いました。生徒からは「(訪問先の先輩のように)好きなことを職業にできたら幸せだなと思った」、「日ごろ見ていたニュース番組が、裏方の多くの人が汗を流して働くことで成り立っていることが分かった」といった声が聞かれ、新たな発見とともに、将来の自分の姿を思い描く貴重な機会となっています。